

『福祉のまち、よこすか』をめざして

議会活動報告第20号
2006年6月8日発行

10万1055人の署名をありがとう！

6月7日、参議院議長に10万1055人分の署名を渡してきました！
横須賀のみなさんにも協力してもらった「自殺対策の法制化を求める署名」は、なんと目標数(3万人)を3.5倍も上回る数を集めることができました。
4月からわずか2ヶ月で10万人。これは快挙です！
こんなにもたくさんの方が署名をしてくれたのは、「自殺が8年連続3万人を超えている」という異常な現状に対して、「自殺は対策を取れば救うことができる」という僕たちの声を、みなさんがしっかりと受け止めてくれたおかげだと思えます。こころからみなさんにお礼を申し上げます。
本当にありがとうございます。必ず法制化を実現します！

自殺対策法制化
参院議長に署名
10万人分の一部
自殺対策の法制化を求
める署名が10万1055
人分集まり、呼びかけて
いたNPO法人「自殺対
策支援センター ライフ
リンク」(東京都)の清水
康之代表と与野党の国会
議員の有志らが7日、国
会で扇千景参議院議長に
一部を手渡した。毎年3
万人を超える自殺者が出
ており、3万人の署名を
目指したが、3倍以上の
署名が集まった。
法制化を巡っては、国

(毎日新聞6月7日夕刊)

毎日新聞をはじめ、日本経済新聞の夕刊、当日夜のNHKニュースでもくりかえし「署名10万人分を提出！」がとりあげられました。

と自治体の責務を明記した「自殺対策基本法」が議員立法として、今国会で成立する見通し。
署名活動は4月から開始。社会問題として自殺対策を実施すべきだとし、法制化の必要性を訴えていた。【玉木達也】

- ・自殺対策を推進する地方議員有志の会代表
- ・横須賀市議会議員(無所属)
- ・精神保健福祉士

おれを、こきつかえ！

ふじの ひであき

藤野 英明 32才



政治家フジノのゴール

1. 自殺で亡くなる方がゼロのまちへ
2. 精神保健福祉(こころの健康)をもっともっと改善する
3. お母さんと子どもが健やかに暮らせるまちへ
4. 高齢の方々もいつまでも笑顔で暮らせるまちへ
5. 障がいがあっても無くてふつうに暮らせるまちへ
6. そのために、すべての税金のムダづかいをカットする
7. 今この瞬間に苦しんでいる人の声に耳を傾ける

<フジノのひとりごと> 日本社会事業大学の通信教育過程を2年間かけて卒業して、この3月31日に国家試験に合格して「精神保健福祉士」になりました！

8日 参議院の内閣委員会で法案の審議・採決(予定)
9日 参議院の本会議で法案の審議・採決(予定)

14日 衆議院の内閣委員会にて、法案の審議・採決(予定)
15日 衆議院の本会議にて、法案の審議・採決(予定)

法案の
成立！

「自殺対策を推進する地方議員有志の会」を立ち上げ！

「8年連続で年間自殺者3万人突破」というニュースが流れた6月1日、僕は地方議員(市町村会議員・都道府県会議員)の仲間と共に「地域の自殺対策を推進する地方議員有志の会」を立ちあげました。

昨年12月から半年かけて立ちあげを準備してきました。当日は、たくさんのマスコミが取材に訪れ、ほぼ全ての全国紙と地方紙に記事が載りました。

法制化が実現しても、その法律をしっかりと現場で実行していかなければ意味がありません。だからこそ僕たち「最も現場に近い存在」である地方議員が連携して、自殺予防対策を推進していく必要があります。

特定非営利活動法人(NPO法人)「自殺対策支援センター ライフリンク」(東京)の呼びかけで、東京都議や新潟県議、福岡県久留米市議

この日警察庁は、昨年の自殺者が8年連続で三万人を超えたと発表。地域の人々の痛みや苦しみにじかに触れる機会が多い地方議員が、議会質疑や、議員同士の情報交換を通じて、自殺を食い止める地方発の施策を模索するのが目的だ。

自殺者防止対策で「地方議員の会」

情報交換など活発化

代表の藤野英明・神奈川県横須賀市議(三)は二〇〇三年、会社を辞めて出馬、初当選した。高校二年から交際していた彼女が自殺したのがきっかけだった。議会質疑などで対策を求めた結果、同市は自殺減少の数値目標を設定。民生・児童委員への自殺予防対策研修も実現した。

(上:東京新聞6月2日朝刊より)雑誌からも取材を受けました。今月はラジオにも出演します。

ホームページ、毎日更新中です！



1日平均6500アクセスのフジノのHPは、情報満載で毎日更新！政治家フジノの想い、お金のつかいみち、スケジュール、全て公開しています。おとしは雑誌「Yahoo! インターネットマガジン」で、次期首相候補と言われる、あの安倍官房長官と一緒に紹介されました。ぜひごらん下さい。

<http://www.hide-fujino.com>

フジノが全国代表になりました

(右:毎日新聞6月2日朝刊より)さらに、朝日・読売は6月1日の夕刊で、神奈川新聞をはじめ、全国の地方紙も報道してくれました。マスコミも高い関心を持っています。政治は本気で自殺を減らします。



で国や自治体の責務を明記した「自殺対策基本法」が成立する見通しで、メンバーは地方議会での質問や提言を通じ、自殺対策の推進を図る。

平塚市議(同)の江口友子さん(30)は成人となった知的障害者と暮らす親の負担がとても重く、子どもの将来を悲観するあまり「死んでしまいたい」と思う人が多いことを報告。「総合的な自殺対策が必要」と訴えた。有志の会の事務局はNPO法人「自殺対策支援センター ライフリンク」(03・3261・4934)。【玉木達也】

地域の対策推進
地方議員初代会
地域での自殺対策を充実させようと、超党派の地方議員有志の会を設立し、東京都内で1日、初代会を開いた。今国会

カフェトークに来てみませんか？

おいしい紅茶でも飲みながら、いろいろなこととお話しませんか？暮らしのこと、まちのこと、あなたのふだんの想いを聞かせて下さい。参加は誰でもOKです。これまで38回も開催しました。大好評です。参加した方同士の交流も生まれています。ぜひ遊びに来て下さいね。

日時:6月13日&27日
時間:お昼12~14時頃まで
場所:『BUENO』横須賀中央モアーズ1階のカフェです。
誰でも気軽にご参加下さい！

あなたの意見や感想、お待ちしております

横須賀市上町1-38 関根ビル22号室 藤野英明事務所
電話とFAX: 046(824)3162 携帯: 080(6584)0010
メール: hide-fujino@ezweb.ne.jp、mail@hide-fujino.com